様　式　Ｃ－１９、Ｆ－１９－１、Ｚ－１９　（共通）

科研費 KAKENHI

科学研究費助成事業　　研究成果報告書

令和　６年　５月１４日現在

機関番号：１２６０１
研究種目：基盤研究(C)（一般）
研究期間：2021～2023
課題番号：２１Ｋ００４１０

研究課題名（和文）中世フランス語版『リュシデール』の言語地理学的・文献学的語彙研究

研究課題名（英文）Philological and Dialectological Studies on the Vocabulary of Lucidaire

研究代表者
松村　剛（MATSUMURA, Takeshi）

東京大学・大学院総合文化研究科・教授

研究者番号：００２２９５３５

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費）　3,200,000円

研究成果の概要（和文）：本研究においては、ホノリウス・アウグストドゥネンシスのラテン語版『エルキダリウム』（1100年頃）から13世紀前半に中世フランス語に翻訳された『リュシデール』を伝える写本中、フランス北東部やリヨン地方で作成された4点を照合し、2000年に Monika Turk によって上梓された近代版を修正し、各種辞書の記述の誤りを訂正しながら、その語彙がフランス語史と言語地理学にとって興味深い多くの単語を含んでいることを明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義
本研究においては、1100年頃にホノリウス・アウグストドゥネンシスがラテン語で著した『エルキダリウム』から13世紀前半に中世フランス語に翻訳された『リュシデール』の語彙を、パリのフランス国立図書館に所蔵されている13世紀中葉から14世紀初頭にフランス北東部とシャンパーニュ地方とリヨン地方で作成された写本4点の写真版と、2000年に Monika Turk が上梓した近代版とを比較しながら検討し、従来の語彙研究においては綿密な調査の対象になってこなかったこの作品がフランス語史と言語地理学の観点から重要な意義をもつ用例を含んでいることを明らかにした。

研究成果の概要（英文）：With this grant-in-aid for scientific research, I studied the vocabulary of "Lucidaire", an old french translation (in the first half of the 13th century) of "Elucidarium" (composed around 1100 by Honorius Augustodunensis). I worked mainly on four manuscripts dating from the middle of the 13th century to the beginning of the 14th century and located in the North-East, Champagne and Lyonnais (Paris, Bibliotheque nationale de France, fonds francais 423, 1036, 19220 and n.a.f. 10034). While examining the edition published by Monika Turk in 2000 (Lucidaire de grant sapientie, Untersuchung und Edition der altfranzosischen Ubersetzung I des Elucidarium von Honorius Augustodunensis, Tubingen, Max Niemeyer) and the main dictionaries that cite this work, I observed that this text contains numerous words of great interest for the history of the french language and the geographical linguistics.

研究分野：人文学

キーワード：中世フランス語　フランス語史　語彙論　文献学　言語地理学

※科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

１．研究開始当初の背景

(1) 本研究は平成 30・31 年度、令和 2 年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（基盤研究 (C)（一般））「中世フランス語版『テンプル騎士団会則』の言語地理学的・文献学的語彙研究」（課題番号 18K00443）において松村が挙げた成果を継承しつつ、ホノリウス・アウグストドゥネンシス (Honorius Augustodunensis) が 1100 年頃にラテン語で著した『エルキダリウム』(*Elucidarium*) から 13 世紀前半に中世フランス語に翻訳された『リュシデール』(*Lucidaire*) を対象にして、その語彙を言語地理学的・フランス語史的な観点から網羅的に研究するものとして開始された。それまでの 3 年間の研究は、1260 年頃に聖地で作成された中世フランス語版『テンプル騎士団会則』(*Règle du Temple de Jérusalem*) を取り上げ、1886 年に Henri de Curzon がフランス歴史学会 (Société de l'Histoire de France) の叢書として上梓した校訂版 *La Règle du Temple* (Paris, Renouard) と、2009 年に Giovanni Amatuccio がイタリア語の翻訳と注釈を添えて刊行した校訂版 *Il Corpus normativo templare. Edizione dei testi romanzi con traduzione e commento in italiano* (Galatina, Congedo Editore) とを、それらの底本となったパリ、フランス国立図書館所蔵フランス語写本第 1977 番との照合によって訂正しつつ、この作品の語彙を歴史的かつ地理的な観点から網羅的に検討し、フランス語の歴史と地理においていかに重要な用例がそこに含まれているかを浮き彫りにすることができた。その成果は、松村がフランスで出版し、アカデミー・フランセーズから 2016 年に最高の賞であるフランス語圏大賞 (Académie française, Grand prix de la Francophonie) を受け、日本学士院より 2018 年に恩賜賞・学士院賞を受けた単著『中世フランス語辞典』(*Dictionnaire du français médiéval*, Paris, Les Belles Lettres, 2015, x + 3500 pages ; Deuxième tirage revu et corrigé, Paris, Les Belles Lettres, 2018, x + 3501 pages) の改訂に向けた作業に組み込むことができたほか、« Sur un mot fantôme dans *La Règle du Temple* : le cas de l'*oine* » という論文として、ルーマニアの学術誌 *Philologica Jassyensia*, t. 14, 2, 2018 に発表することができ、その他の論考によってもフランス語のテキストならびにフランス語史関連の研究書、辞書に関する文献学的な批判的読解の作業も進めてきた。また、フランス学士院 (Institut de France) 碑文・文芸アカデミー (Académie des Inscriptions et Belles-Lettres) の外国人連携会員 (correspondant étranger) として、語彙研究とロマンス語研究の分野における各賞選考委員会に参加し、最近の成果を批判的に検討した。

(2) 本研究で対象とする中世フランス語版『リュシデール』の文献学的、言語地理学的な語彙研究は今までほとんどなされてこなかった。1954 年に Yves Lefèvre は博士論文 *L'Elucidarium et les lucidaires. Contribution, par l'histoire d'un texte, à l'histoire des croyances religieuses en France au moyen âge* (Paris, De Boccard) においてラテン語版『エルキダリウム』の校訂版を出版し、中世フランス語においていかなる翻訳と翻案がなされたかを研究し、彼の調査により、5 種の翻訳と 2 種の翻案の存在が明らかにされた。その後、第 1 の翻訳（13 世紀前半）は 2000 年に Monika Türk によって *Lucidaire de grant sapientie. Untersuchung und Edition der altfranzösischen Übersetzung I des Elucidarium von Honorius Augustodunensis* (Tübingen, Max Niemeyer) と題する校訂版が刊行され、第 2（13 世紀末）、第 4（14 世紀）、第 5（15 世紀初頭）の翻訳は 1993 年に Martha Kleinhans により *Lucidaire vault tant a dire comme donnant lumiere. Untersuchung und Edition der Prosaversionen 2, 4 und 5 des Elucidarium* (Tübingen, Max Niemeyer) として、第 3 の翻訳（1200 年頃）は 1974 年に Henning Düwell により *Eine altfranzösische Übersetzung des Elucidarium* (München, Wilhelm Fink) として校訂版が上梓された。翻案のうち、Gillebert de Cambres が 13 世紀前半に韻文で著した作品は 1991 年に Ernstpeter Ruhe が *Himmel und Hölle. Heilswissen für Zisterzienser Der Lucidaire en vers des Gillebert de Cambres* (Wiesbaden, Ludwig Reichert) と題する校訂版を出版し、『第 2 リュシデール』と呼ばれる 1312 年頃の翻案は 1993 年に Doris Ruhe によって *Gelehrtes Wissen, 'Aberglaube' und pastorale Praxis im französischen Spätmittelalter. Der Second Lucidaire und seine Rezeption (14.-17. Jahrhundert)* (Wiesbaden, Ludwig Reichert) として校訂版が刊行された。これらの研究と校訂版のいずれにおいても言語的な特徴は詳細な検討がなされておらず、これらの翻訳と翻案に含まれる語彙がフランス語の歴史と地理においていかなる意義をもつかという問題を意識すらしていない。異本の扱いも含め、本文の校訂自体もかならずしも十分とは言い難いのが現状である。

(3) 以上のような研究の現状であったがゆえに、文献学的な手法に基づいて、フランス語史と言語地理学の観点から注目すべきこれらの作品群の中から、第１の翻訳を取り上げ、総合的な語彙研究を行なう必要は大きいものであった。

２．研究の目的

(1) 上記の通り、従来の研究に欠落していた要素を補完すべく、ホノリウス・アウグストドゥネンシスのラテン語著作『エルキダリウム』からの第 1 の翻訳である、13 世紀前半に中世フラ

ンス語に翻訳された『リュシデール』を取り上げ、この作品を伝える写本の中で、13 世紀中葉から 14 世紀初頭にフランス北東部とシャンパーニュ地方とリヨン地方で制作された 4 点の写本を照合し、Monika Türk が上梓した校訂版の間違いを訂正しつつ、無視された異本を収集し、現在の文献学的な要請に応じた正確な校訂版を作成する作業を行なう。

(2) その過程で、このテキストに含まれた語彙の網羅的な研究を推進する。その際、言語地図と各種辞書を批判的に活用しつつ、用例の言語地理学的・フランス語史的意義を明らかにする。F. Godefroy の 10 巻本『古フランス語辞典』(*Dictionnaire de l'ancienne langue française et de tous ses dialectes*)、A. Tobler et E. Lommatzsch の 12 巻本『古フランス語辞典』(*Altfranzösisches Wörterbuch*)、W. von Wartburg が創始した 25 巻本『フランス語語源辞典』(*Französisches Etymologisches Wörterbuch*) における『リュシデール』および関連作品の引用を検討し、間違いがあれば訂正しつつ、この作品が含む単語の初出に着目しながら、従来のフランス語史の記述を補完する要素を明示することを系統的な語彙集成の作成を通じて行なう。

(3) ラテン語版の『エルキダリウム』と中世フランス語版の『リュシデール』を比較し、それぞれがどのような語彙を使用しているのかを網羅的に調査することによって、従来は中世末期の現象としてとらえられていた翻訳文学が実はより古い時代にすでに行なわれ始めていたことが明らかになり、それに応じた貴重な用例を発見することができるであろう。

(4) これらの検討を通して、『中期フランス語辞典』(*Dictionnaire du moyen français*)(ナンシー、フランス国立国語研究所)に多くの寄与をすることができるであろうし、部分的に改訂版を作成しつつある『フランス語語源辞典』(*Französisches Etymologisches Wörterbuch*)(同じくナンシー、フランス国立国語研究所)の補足・修正にも役立つだろうし、『フランス語宝典』(*Trésor de la langue française*) の語源項目の再検討をしている TLF-Etym および「幽霊語研究」(Base des Mots-Fantômes)(同じくナンシー、フランス国立国語研究所)にも多数の貢献をすることができるであろうし、松村の単著『中世フランス語辞典』(*Dictionnaire du français médiéval*, Paris, Les Belles Lettres, 2015 ; 2018) の増補改訂にも有益な成果が期待できる。

３．研究の方法

(1) 上記の研究目的を達成すべく、中世フランス語版『リュシデール』の第 1 の翻訳の Monika Türk による校訂版 (*Lucidaire de grant sapientie. Untersuchung und Edition der altfranzösischen Übersetzung I des Elucidarium von Honorius Augustodunensis*, Tübingen, Max Niemeyer) と、この作品を伝える写本の中で、パリのフランス国立図書館に所蔵されており、フランス北東部(Monika Türk の校訂版の底本となった 14 世紀初頭制作のフランス語写本第 19920 番と、13 世紀中葉に制作された新収フランス語写本第 10034 番)、シャンパーニュ地方(13 世紀末に制作されたフランス語写本第 1036 番)、リヨン地方(14 世紀初頭に制作されたフランス語写本第 423 番)という異なった制作地域のものを比較検討する。

(2) 各種辞書における中世フランス語版『リュシデール』の引用を再検討し、それらの解釈の妥当性を文献学的に調査し、間違いがあれば訂正してゆく。とくに F. Godefroy の 10 巻本『古フランス語辞典』(*Dictionnaire de l'ancienne langue française et de tous ses dialectes*)、A. Tobler et E. Lommatzsch の 12 巻本『古フランス語辞典』(*Altfranzösisches Wörterbuch*)、W. von Wartburg が創始した 25 巻本『フランス語語源辞典』(*Französisches Etymologisches Wörterbuch*) における引用および解釈を批判的に検討し、そこに見られる誤り、ないし不十分な記述の影響がどのように語彙研究、フランス語史研究に現れているかを文献学的に調査する。

(3) 中世フランス語版『リュシデール』の第 1 の翻訳に含まれる、フランス語史と言語地理学の観点から見て注目すべき単語・表現を収集し、この作品の意義を裏付ける点を強調し、フランス語史および言語地理学における従来の知見を補完してゆく。

(4) 関連するラテン語およびフランス語作品を収集し、それらを批判的に検討し、補足的な情報を収集する。

４．研究成果

(1) 中世フランス語版『リュシデール』の第 1 の翻訳のテキストに関して、Monika Türk による校訂版 (*Lucidaire de grant sapientie. Untersuchung und Edition der altfranzösischen Übersetzung I des Elucidarium von Honorius Augustodunensis*, Tübingen, Max Niemeyer) と、底本であるパリのフランス国立図書館所蔵、フランス語写本第 19920 番と、その他の写本(フランス語写本第 423 番、フランス語写本第 1036 番、新収フランス語写本第 10034 番)とを比較検討した結果、それぞれの写本がもつ地域的な言語の特徴(フランス北東部、シャンパーニュ地方、リヨン地方)が近代版においては詳細に扱われておらず、異本の提示が十分ではなかったことが判明した。

(2) 中世フランス語版『リュシデール』の第 1 の翻訳の語彙に関して、フランス語史と言語地

理学の観点から重要な単語と表現を収集する作業を通じて、従来の知見を刷新するような結果を出すことができた。その成果は、松村の単著『中世フランス語辞典』(*Dictionnaire du français médiéval*, Paris, Les Belles Lettres, 2015 ; 2018) の増補改訂に役立ったほか、« Sur le mot *cultivage* en moyen français », *Glaliceur*, t. 84, 2023 で発表した。

(3) このように、フランス語史および言語地理学の観点から、従来の知見を補完する情報を収集できたことで、ナンシーのフランス国立国語研究所の『中期フランス語辞典』(*Dictionnaire du moyen français*)、「『フランス語宝典』語源項目の再検討」(TLF-Etym) および「幽霊語研究」(Base des Mots-Fantômes) にとって有益な用例を発見することができ、今後のフランス語史研究の発展に意義のある成果と言える。

５．主な発表論文等

〔雑誌論文〕　計68件（うち査読付論文　20件／うち国際共著　0件／うちオープンアクセス　66件）

１．著者名 松村　剛	４．巻 79
２．論文標題 Pierre-Marc de Biasi est-il revolutionnaire ?	５．発行年 2023年
３．雑誌名 Glaliceur	６．最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

１．著者名 松村　剛	４．巻 80
２．論文標題 Sur le mot devantiau prononce par Victor et Victorine	５．発行年 2023年
３．雑誌名 Glaliceur	６．最初と最後の頁 1-7
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

１．著者名 松村　剛	４．巻 81
２．論文標題 Sur le papier Weynen	５．発行年 2023年
３．雑誌名 Glaliceur	６．最初と最後の頁 1-12
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

１．著者名 松村　剛	４．巻 82
２．論文標題 Sur le mot beyeux chez Claire de Duras	５．発行年 2023年
３．雑誌名 Glaliceur	６．最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 83
2．論文標題 Diverses facons de traiter reprendre a la vie	5．発行年 2023年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-17
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 7
2．論文標題 Sur deux allusions nervaliennes a Villon	5．発行年 2023年
3．雑誌名 Revue Nerval	6．最初と最後の頁 289-303
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.48611/isbn.978-2-406-14899-9.p.0289	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 84
2．論文標題 Sur le mot cultivage en moyen francais	5．発行年 2023年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 86
2．論文標題 Trois etymologies populaires dans l’exegese flaubertienne : godefiche, picot et prune d’avoine	5．発行年 2023年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-15
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 87
2．論文標題 De tristes ou grotesques notes sur Sorek dans Herodias	5．発行年 2023年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-12
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 88
2．論文標題 Sur deux regionalismes flaubertiens meconnus par les editeurs recents	5．発行年 2023年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-17
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 89
2．論文標題 Sur l’edition "critique" de Trois contes par Barbara Vinken	5．発行年 2023年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 38
2．論文標題 Sur un regionalisme flaubertien : quiques	5．発行年 2023年
3．雑誌名 Philologica Jassyensia	6．最初と最後の頁 207-214
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.60133/PJ.2023.2.16	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 4
2．論文標題 Sur quelques epigraphes d’Armance et du Rouge et le Noir	5．発行年 2023年
3．雑誌名 Stendhal	6．最初と最後の頁 168-178
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.4000/stendhal.312	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1．著者名 松村　剛	4．巻 55
2．論文標題 Stendhal a-t-il employe une "methode honnete" dans sa Vie de Michel-Ange?	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-12
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1．著者名 松村　剛	4．巻 6
2．論文標題 Et d’ou Nerval tire-t-il tout cela? sur deux chansons qu'il a empruntees a Dumas	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Revue Nerval	6．最初と最後の頁 239-252
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1．著者名 松村　剛	4．巻 6
2．論文標題 "La France a ri longtemps de mon indifference" sur un passage d'Une repetition	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Revue Nerval	6．最初と最後の頁 253-265
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

１．著者名 松村　剛	４．巻 6
２．論文標題 Peut-etre valait-il mieux n'y plus penser - noir, vert et bleu	５．発行年 2022年
３．雑誌名 Revue Nerval	６．最初と最後の頁 267-278
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

１．著者名 松村　剛	４．巻 6
２．論文標題 En herborisant dans la foret des variantes	５．発行年 2022年
３．雑誌名 Revue Nerval	６．最初と最後の頁 279-290
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

１．著者名 松村　剛	４．巻 6
２．論文標題 Que lisait-on dans le vestibule de l'enfer?	５．発行年 2022年
３．雑誌名 Revue Nerval	６．最初と最後の頁 291-302
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

１．著者名 松村　剛	４．巻 6
２．論文標題 Personne n'a ete plus houspille que lui - sur Jean-Pons-Guillaume Viennet	５．発行年 2022年
３．雑誌名 Revue Nerval	６．最初と最後の頁 303-314
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 6
2．論文標題 Si l'on faisait un peu de musique a petit bruit	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Revue Nerval	6．最初と最後の頁 315-326
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 6
2．論文標題 "Absurdes quiproquos philologiques"?　sur deux mots regionaux dans Pandora	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Revue Nerval	6．最初と最後の頁 327-337
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 6
2．論文標題 Trois elucubrations de plaisantin sur Promenades et souvenirs	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Revue Nerval	6．最初と最後の頁 339-351
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 6
2．論文標題 En fixant les yeux sur Les Papillons	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Revue Nerval	6．最初と最後の頁 353-369
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 6
2．論文標題 C'est la une belle histoire de chiens! - quelques remarques sur le Voyage en Orient	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Revue Nerval	6．最初と最後の頁 371-383
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 6
2．論文標題 Mots regionaux dans Le Marquis de Fayolle	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Revue Nerval	6．最初と最後の頁 385-396
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 56
2．論文標題 Sur trois allusions napoleoniennes dans Lucien Leuwen	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 58
2．論文標題 Bonanni, Conca et Vigenere dans l'Histoire de la peinture en Italie	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 59
2．論文標題 Dumont, Fontana, Hobhouse et Mitford dans l'Histoire de la peinture en Italie	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-12
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 60
2．論文標題 Deux lettres de Michel-Ange dans l'Histoire de la peinture en Italie	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 33
2．論文標題 Pierre Barboutau commanditaire de recueils de Fables de La Fontaine (1894) et de Florian (1895) illustres par des artistes japonais	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Le Fablier	6．最初と最後の頁 37-42
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 62
2．論文標題 Le rude et farouche XXe siecle - sur les Essais de Proust publies par Antoine Compagnon	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 65
2．論文標題 Desinvolture ou imposture? Sur quelques editions modernes des Cent Contes drolatiques	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 70
2．論文標題 Sur quelques regionalismes de L'Education sentimentale	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-21
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 138
2．論文標題 Compte rendu : Claude Buridant, Grammaire du francais medieval	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Zeitschrift fur romanische Philologie	6．最初と最後の頁 1321-1323
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 3
2．論文標題 Sur l'echelle ou escalier de meunier chez Balzac	5．発行年 2022年
3．雑誌名 L'Annee balzacienne	6．最初と最後の頁 389-400
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

１．著者名 松村　剛	４．巻 71
２．論文標題 Quel est le texte de base de La deuxieme Tentation de saint Antoine editee par Gisele Seginger?	５．発行年 2022年
３．雑誌名 Glaliceur	６．最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

１．著者名 松村　剛	４．巻 72
２．論文標題 Sur les mots borran, borraw et borrow chez Flaubert	５．発行年 2023年
３．雑誌名 Glaliceur	６．最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

１．著者名 松村　剛	４．巻 73
２．論文標題 Sur une source dissimulee du chapitre V de Par les champs et par les greves	５．発行年 2023年
３．雑誌名 Glaliceur	６．最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

１．著者名 松村　剛	４．巻 75
２．論文標題 Sur le chapitre VIII de Par les champs et par les greves	５．発行年 2023年
３．雑誌名 Glaliceur	６．最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 76
2．論文標題 Sur le mot noue dans Les Memoires d'un fou	5．発行年 2023年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-7
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 ―

1．著者名 松村　剛	4．巻 77
2．論文標題 Sur quelques mots de Novembre	5．発行年 2023年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-15
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 ―

1．著者名 松村　剛	4．巻 59
2．論文標題 La these d'Henri Bachelin sur Balzac	5．発行年 2021年
3．雑誌名 L'Horizon de pourpre	6．最初と最後の頁 25-41
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 ―

1．著者名 松村　剛	4．巻 29
2．論文標題 Andrieux, Talleyrand, Napoleon : notes d'un ignorant sur Le Rouge et le Noir	5．発行年 2021年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 ―

1．著者名 松村　剛	4．巻 30
2．論文標題 Brune, lisard, pompon : notes lexicographiques sur Le Rouge et le Noir	5．発行年 2021年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-12
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 31
2．論文標題 Casse-cou, embourser, ennoblir : sur trois mots prononces par le marquis et le comte de La Mole	5．発行年 2021年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 33
2．論文標題 En mordant le pain benit : remarques lexicographiques sur quelques passages stendhaliens	5．発行年 2021年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-7
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 34
2．論文標題 Remarques complementaires sur le chapitre XXIII du tome premier du Rouge et le Noir	5．発行年 2021年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

１．著者名 松村　剛	４．巻 35
２．論文標題 faire aigre, compter au piquet, contrepasser : notes lexicographiques sur Lucien Leuwen	５．発行年 2021年
３．雑誌名 Glaliceur	６．最初と最後の頁 1-16
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

１．著者名 松村　剛	４．巻 36
２．論文標題 Et je dirai niaisement : sur quatre citations de Lucien Leuwen	５．発行年 2021年
３．雑誌名 Glaliceur	６．最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

１．著者名 松村　剛	４．巻 37
２．論文標題 Qui est Monsieur Jabalot ? Sur une obscurite de Lucien Leuwen	５．発行年 2021年
３．雑誌名 Glaliceur	６．最初と最後の頁 1-5
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

１．著者名 松村　剛	４．巻 38
２．論文標題 Un coup de des dans Racine et Shakespeare de Michel Crouzet	５．発行年 2021年
３．雑誌名 Glaliceur	６．最初と最後の頁 1-20
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1．著者名 松村　剛	4．巻 39
2．論文標題 Lebrun, Lingay, Stephanus Ancestor dans Racine et Shakespeare	5．発行年 2021年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 40
2．論文標題 Sur des lettres de Napoleon evoquees dans la Vie de Rossini	5．発行年 2021年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 41
2．論文標題 Tel maitre, telle disciple : sur la Vie de Rossini editee par Suzel Esquier	5．発行年 2021年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 42
2．論文標題 Graces aux Immortels, ou bien grace a Gnaton ? Sur une locution chez Stendhal	5．発行年 2021年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-12
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 43
2．論文標題 Lettres ecrites de Vienne en Autriche, sur le celebre compositeur Jh. Haydn : remarques philologiques sur l’edition de Daniel Muller	5．発行年 2021年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 45
2．論文標題 Sur quatre citations dans les Vies de Haydn, de Mozart et de Metastase	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 46
2．論文標題 Sur apedeute, linostole et pastophore dans L’Ingenu	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 47
2．論文標題 Sauf le respect que je dois a la compagnie... : sur l’Histoire de la peinture en Italie editee par Victor Del Litto	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 48
2．論文標題 Une mediation entre l'Edinburgh Review et l'Histoire de la peinture en Italie	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1．著者名 松村　剛	4．巻 49
2．論文標題 Un des plus beaux textes symboliques de l'oeuvre de Stendhal	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1．著者名 松村　剛	4．巻 50
2．論文標題 Stendhal helleniste et orientaliste ?	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1．著者名 松村　剛	4．巻 51
2．論文標題 Quand Victor Del Litto a paraphrase Paul Arbelet	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1．著者名 松村　剛	4．巻 56
2．論文標題 Les traductions de l’oeuvre d’Henri Bosco au Japon	5．発行年 2021年
3．雑誌名 Cahiers Henri Bosco	6．最初と最後の頁 149-155
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 52
2．論文標題 Sans moi qui suis si peu... : sur quatre citations dans l’Histoire de la peinture en Italie	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 53
2．論文標題 La plus belle place de l’Europe... : sur cinq citations dans l’Histoire de la peinture en Italie	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 松村　剛	4．巻 54
2．論文標題 Que vient faire Carlo Dati dans l’Histoire de la peinture en Italie ?	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Glaliceur	6．最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

〔学会発表〕　計3件（うち招待講演　2件／うち国際学会　2件）

1．発表者名 松村　剛
2．発表標題 Sur quelques mazarinades en proverbes
3．学会等名 Mazarinades et territoires（国際学会）
4．発表年 2022年

1．発表者名 松村　剛
2．発表標題 A propos du Choix de Fables de La Fontaine, illustrees par un groupe des meilleurs artistes de Tokio (dir. P. Barboutau, 1894) et des Fables choisies de J.-P. Claris de Florian, illustrees par des artistes japonais (dir. P. Barboutau, 1895)
3．学会等名 La Fontaine et l’Extreme-Orient（招待講演）（国際学会）
4．発表年 2021年

1．発表者名 松村　剛
2．発表標題 Sur les trois traducteurs japonais d’Henri Bosco
3．学会等名 L’Amitie Henri Bosco（招待講演）
4．発表年 2021年

〔図書〕　計1件

1．著者名 松村　剛	4．発行年 2022年
2．出版社 Academie francaise et Academie des Inscriptions et Belles-Lettres	5．総ページ数 282
3．書名 Le sentiment va vite en voiture. Recueil de nunu balzaciens	

〔産業財産権〕

〔その他〕

－

６．研究組織

	氏名 （ローマ字氏名） （研究者番号）	所属研究機関・部局・職 （機関番号）	備考

７．科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕　計0件

８．本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関